

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立北中道幼稚園

学校協議会

1 総括についての評価

本年度、幼稚園の自己評価結果は妥当である。『保護者アンケート』からも見て取れるが、各視点の年度目標に対する達成状況の自己評価と取組内容の達成状況においても、目標を上回って達成しており評価できる。引き続き、教育内容の充実と発信に努めていただきたい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

- ① 今年度のアンケート調査で、「幼稚園は、子どもたちが安全に過ごそうとする意識がもてるような取り組みをしていますか」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を、90%以上にする。
- ② 今年度のアンケート調査で、「子どもは幼稚園に行くことを喜んでいきますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を、90%以上にする。
- ③ 今年度のアンケート調査で「子どもは教師や友達との関わりを楽しんでいますか」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を、90%以上にする。

○①の項目について100% ②の項目について100% ③の項目について100% 「そう思う（だいたいそう思う）」の割合が高く保護者アンケートやコメントからも読み取れる。月1回の避難訓練（抜き打ち避難訓練含む）、年2回の保護者合同園児引き取り訓練を実施してきたことが子どものみならず保護者の防災意識を高めることにも繋がった。教職員間で緊急時における対応を共通理解したことで教職員の意識も高まっている。今年度も異年齢交流（わくわくたいむ）について教育内容を工夫してきた。教職員が子どもたちへの温かい関わりを心掛けてきたことも肯定的回答が高くなった要因と言える。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

- ① 今年度のアンケート調査で「幼稚園は家庭に向けて子どもたちの育ちを分かりやすく知らせていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を、90%以上にする。
- ② 今年度のアンケート調査で「幼稚園は、子どもや保護者に対して基本的な生活習慣が身につくように、分かりやすく伝えていきますか」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。

○①の項目について100% ②の項目について100% 「そう思う（だいたいそう思う）」の割合が高く保護者アンケートやコメントからも読み取れる。『園長室だより』『クラスだより』など子どもの育ちをドキュメンテーション形式で発信したことや、『知・徳・体』についてもバランスよく育むことが大切であると発信してきた。健康生活に関しても、『ほけんだより』や保健指導を通して家庭啓発してきたことなどを積み重ねてきた。肯定的回答が高くなった要因と言える。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

- ① 今年度のアンケート調査で「園内研修が充実していたと思うか（教職員アンケート）」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を、90%以上にする。
- ② 今年度のアンケート調査で「幼稚園は地域に向けて教育内容を分かりやすく発信していますか」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。

○①の項目について100% ②の項目について100% 「そう思う（だいたいそう思う）」の割合が高く教員や保護者アンケートのコメントからも読み取れる。今年度、第75回造形表現・図画工作・美術教育研究大会（大阪大会）公開保育を実施した。引き続き、教員の資質向上に向けて、園内研修の場を設け、教職員が互いに見合い研鑽を積むことが大切であると考えている。地域に向けての教育内容の発信についても、高齢者施設への訪問、和太鼓交流など地域の方々との連携を積み重ねてきた。肯定的回答が高くなった要因と言える。

3 今後の学校運営についての意見

- これまでも計画的に、異年齢交流『わくわくたいむ』を実践されてこられた。異年齢の友達との関わりの中で、安心感を持って、自分の思いを伝えたり、相手の思いを汲み取ろうとしたり、思いやりの気持ちが育っていることを感じる。これからも異年齢交流『わくわくたいむ』を続けてほしいと願っている。
- 防災教育に関しては、引き続き、これまで通り工夫していただきたい。
- 養護教諭・助教諭の先生方が、丁寧に視覚的教材を作成しておられた。引き続き、子どもたちにもわかりやすい、遊びから学べるような視覚的教材を活用した保健指導をお願いしたい。
- 就学前教育カリキュラムの『知・徳・体』については、月末、保護者向けに『クラスだより』を発行して下さるので大変わかりやすい。自発的な遊びを通して『知・徳・体』をバランスよく育むことが大切であることが理解できた。
- 就学前教育カリキュラムの冊子は小学校にも保管している。今、小1ギャップ（子どもの戸惑い）もあると言われており、今回、小学校授業・施設見学を通して、小学校は楽しい場所であることを感じ取ってほしいと願い、丁寧に案内をさせていただいた。入学後、子どもたちが安心して過ごせるように居場所（＝安全基地）を作ってあげたい。引き続き、幼小連携・接続についても実施していきたい。